

ニガカシュウ

[草本] 《忌避》



<http://had0.big.ous.ac.jp/plantsdic/angiospermae/monocotyledoneae/dioscoreaceae/nigakasyuu/nigakasyuu.htm>

区別のポイント

葉は互生して円心形、先は急に尖る。地下に大型の扁球形の塊根がありひげ根が多い。ヤマノイモの葉は対生（まれに互生）し形は三角状披針形。

形態 つる性の多年草。

分布 本州（関東以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 塊茎や葉が何首烏（ツルドクダミ）に似るが苦いことから。

葉 **〈全体〉**長さ幅ともに5～13 cmの円心形で先は急に尖り、両面に毛はない。
〈付き方〉互生。
〈葉柄〉長さ3～9.5 cmの長い柄。
〈縁〉全縁。

備考

出典 4, ※